

【ベラルーシ共和国】ホストタウン 柴田町を取組

1 「ホストタウン」登録又は「復興ありがとうホストタウン」決定・登録に至るまでの経緯

平成 28 年 3 月、新体操クラブの活動が盛んな白石市、ベラルーシ国立体育・スポーツ学院と国際交流協定を締結し、新体操講師の受入れなど新体操を通じた人的交流を行っている仙台大学、仙台大学の所在地である柴田町の 3 者により「白石市・柴田町・仙台大学東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会」を設立。2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、観光、国際交流、スポーツ、文化芸術、教育等の振興によって、地域の活性化と交流人口の拡大を図ることを目的に事前合宿招致活動を開始しました。

平成 28 年 10 月及び平成 29 年 5 月の 2 度に渡り、対象国をベラルーシ共和国としてホストタウン登録を申請し、平成 29 年 6 月 14 日には、協議会とベラルーシ体操協会との間で事前合宿を行うための協定を締結。同年 7 月 7 日に、ベラルーシ新体操ナショナルチームのホストタウンとして正式に登録されました。

2 交流計画の概要

柴田町及び白石市にベラルーシ新体操ナショナルチームを招いて事前合宿を行い、合宿期間中に町民等との交流会や公開演技会を開催します。

3 これまでの取組、今後行おうとしている取組

これまで、平成 29 年及び 30 年の 2 回に渡って事前合宿を実施しました。

町民との交流として、選手団が幼稚園・小学校、寺院などを訪問し、子どもたちとの交流を行ったほか、日本の文化に触れてもらう取組を行ってきました。

また、合宿期間中に開催する公開演技会には、毎回 600 人を超える町民等の観客が訪れ、世界トップレベルの選手たちの華麗な演技を目の当たりにすることで、新体操競技やベラルーシ共和国への関心が高まっています。

今後も、引き続き町民との交流の場を設けるとともに、2020 年東京オリンピック競技大会開催時の応援ツアー等に向けた取組を予定しています。

4 今後の取組への課題、国等への要望

2020 東京オリンピック競技大会開催後の相手国との交流のあり方について、費用負担の面も含めて課題になってくると思われます。



特集2 SAKURA CAMP 2017
 国まちづくり政策課 ☎54-2111

10月3日(火)から10月11日(水)にかけて、ベラルーシ共和国新体操ナショナルチーム2020年東京オリンピック事前合宿(SAKURACAMP2017)がホストタウンである柴田町および白石市で行われました。

6日(金)、9人の選手とコーチらのスタッフ6人の計15人が滝口町長を表敬訪問。その後、大光寺、浄心幼稚園、槻木小学校を訪れて日本文化の体験や子どもたちとの交流を行いました。7日(土)には仙台大学を会場に公開演技会を行い、華麗な演技が披露されました。

**ベラルーシ共和国
 新体操ナショナルチーム**

新体操の強豪国として知られ、今回コーチとして参加したマリナ・ロバチさんは、昭和63年のソウルオリンピックに当時のソ連代表として出場し、個人総合で金メダルを獲得しています。

10月3日(火)から10月11日(水)にかけて、ベラルーシ共和国新体操ナショナルチーム2020年東京オリンピック事前合宿(SAKURACAMP2017)がホストタウンである柴田町および白石市で行われました。

6日(金)、9人の選手とコーチらのスタッフ6人の計15人が滝口町長を表敬訪問。その後、大光寺、浄心幼稚園、槻木小学校を訪れて日本文化の体験や子どもたちとの交流を行いました。7日(土)には仙台大学を会場に公開演技会を行い、華麗な演技が披露されました。



マリナ・ロバチ コーチ



マリナ・ロバチ コーチ



カチエリーナ・ガルキナ選手



アナスタシーヤ・サロス選手



表敬訪問
 10月6日(金)、選手たちを乗せた車が役場庁舎に到着すると、滝口町長、水戸副町長、町の職員が盛大に迎え、折鶴を繫げたレイを全員の首に掛けて歓迎しました。



その後、滝口町長との会谈が行われ、滝口町長は、「『花のまち柴田』から東京オリンピックに向けて頑張っていたほしい。町を挙げて全力でサポートします」と話しました。



大光寺
 選手たちが船岡の大光寺を訪れて本堂などを見学し、大光寺講員によるご詠歌の披露なども行われました。選手たちは初めて見る日本のお寺に興味津々で、スマートフォンで写真を撮ったり、お寺の歴史などについて住職に熱心に質問したりしていました。その後、地蔵絵を書き写す「写仏」も体験しました。



浄心幼稚園
 選手が到着すると、園児たちがベラルーシの国旗を振って歓迎しました。お遊戯を選手たちに披露し、途中からは選手たちも園児と一緒に踊る場面もありました。最後に園児から「東京オリンピック頑張っね」と激励を受け、その可愛らしい姿に選手たちは終始笑顔で接していました。



槻木小学校
 選手たちに吹奏楽部の演奏と4年生全員で「槻木ソララン」を披露しました。お返しに選手がリボンやボール、フープなどで簡単な演技を披露すると、児童からは歓声があがり、会場は大いに盛り上がりました。その後、6年生が教室で選手たちと一緒に給食を食べ、交流を深めました。





公開演技会について
ガルノシコ選手 去年大きなけがをし、復帰後初めての本格的な演技でしたが、内容は満足しています。サロス選手 ミスがあったので、これから練習を重ね、磨きをかけていきます。**日本でも新体操をしている子どもたちへのメッセージ**
ガルノシコ選手 大切なのはあきらめないで頑張ること。小さいときは選手になることを意識しないで、楽しんでください。サロス選手 新体操が好きなら、日々の努力を怠らないでください。自分を信じて努力を重ねることで結果につながります。



アリーナ・ガルノシコ選手



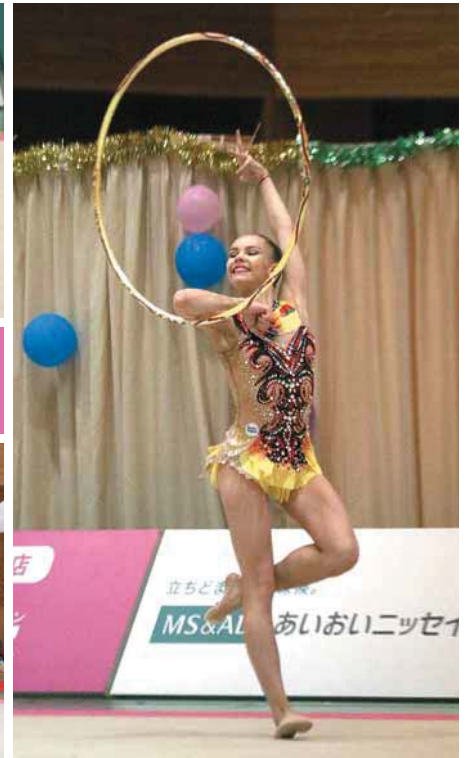
アナスターシャ・サロス選手



オリンピックの目標
ガルノシコ選手 まずは何としてもオリンピックの代表に選ばれたいです。そのために、日頃の練習から緊張感を持って取り組んでいます。けがが続いたので、万全な状態で本番を迎えられたいと思います。
サロス選手 アリーナ選手と同じく、まずは代表に選ばれたいです。プレッシャーを感じていますが、代表に選ばれたら頑張りたいと思います。



特集3
SAKURA CAMP 2018



**ベラルーシ新体操ナショナルチーム
公開演技会 in 柴田町 仙台大学**

昨年に引き続き、今年もベラルーシ共和国新体操ナショナルチーム2020年東京オリンピック事前合宿(SAKURACAMP2018)がホストタウンである柴田町と白石市で7月25日(水)から30日(月)にかけて行われました。

26日(木)、選手とコーチ合わせて16人が来町。柴田町を表彰訪問したあと、早速、仙台大学で練習が行われました。
28日(土)には、仙台大学で公開演技会が開催され、2020年東京オリンピックでもメダルの獲得が期待される、世界でもトップレベルの選手たちの華麗な演技に、訪れた多くの観客の皆さんが魅了されていました。
まちづくり政策課
☎54-2111